まるごと!西日本

発行：(公財)オイスカ西日本研修センター　まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311　FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org　検索 オイスカ西日本

第 678 号
令和 2 年 5 月号付録
「2 色刷り」

←Facebook に日頃の様子を更新中！
是非チェックお願いします！

西日本研修センターのコロナ対策

研修センターでは、今回多大なる被害を世界中にバラまいている新型コロナウイルスへの対策として、政府提唱の「3密を避ける」ことはもとより、独自に対策を行っています。先ずは、日々の検温を行い、それぞれの体調管理、食事も席をずらして静かに食べてます。また、朝礼やミーティング時には全員マスクを着用、入浴も人数制限をしながら、また、ゆっくりと湯船につかり身体を温めるようにしています。当然のことながら、買い物など市街地への外出は禁止にして、外との接触を極力控えています。また、西日本支部の瓜生会長から素敵な手作りマスクや九州バイオカーボン株式会社様と株式会社カクマル様よりコロナ対策用のマスクを頂き、日々活用しています。研修生はそれぞれの母国の状況も非常に心配していますが、ここでは皆明るく、楽しく研修に励んでます。一刻も早い終息と、日本での研修の充実を図りたいと願っております。ご心配いただいております皆様方、本当にありがとうございます。(廣瀬)

↑九州バイオカーボン㈱新名社長と記念写真（中央）

↑瓜生会長からいただいた手作りマスク

↑毎日検温をしてます。

体験農園だより

↓酵素づくりをしているウスさん(2年目)

4 月 11 日に体験農園の参加者を対象に「春の酵素づくり」を行いました。当日の参加者は4組と少なかったですが、どの参加者も何年も酵素を愛飲している方ばかりで、慣れた手つきで作業を進め、2 時間ほどで酵素の仕込みが完了しました。春の酵素は、約 30 種類の野草を 5kgと同量の砂糖を材料にして作っており、当日は早朝から脇山中をくまなく回り、約 30 種類で 30kg分の野草を採集しました。仕込んだ酵素は約 10 日間で完成し(1 日 2 回撹拌する)、仕上がった酵素は毎日 30ml 水で薄めて飲んでいただきます。現在様々なウィルスが蔓延している状況の中で、私たちは身体の免疫力を高める作業が必要になっています。(豊田)

ご協力ありがとうございます！

（敬称略）

【4 月の新入会】

福田　百合加　（北九州推進協議会）
坂口　祐樹　（佐賀県推進協議会）
志免町　（センター）
大塚　進弘　（センター）
株式会社　大栄産業　（センター）
添田町　（センター）
古賀市　（センター）

【4 月の寄付金】

㈱宇治川商店

【4 月の寄付品】

ウェストコースト相場、松永賀代子、瓜生道明、園田法文、日本エコシステム㈱、㈱カクマル、伊藤正

鬼木大明神　今月の一句

与えられた仕事に全力投球しようじゃないか！
自主的に気持ちよく仕事をしよう！
喜んでたのしんで仕事をしよう！
手間と心遣いを惜しむな！
いやいやする仕事はするな！
全力投球して失敗することを
恐れるよりも何もしないことを
恐れろ！“
同じ三振(失敗)するにしても
見送り三振はするな！
空振り三振をしろ！　晴れやかで充実した仕事は人生を健康にするし、幸福にするのだ！！
神様は毎日ちゃんと見てるから！

みなさまのご支援でオイスカの活動が支えられています。ぜひ、ご入会ください！！

オイスカの活動にご賛同いただける企業・団体や個人の方々を募集しています。

- 維持会員（年額一口）　法人　40,000 円
  　　個人　20,000 円
- 月額会員（月額一口）　2,000 円

◇入会されますと
・月刊オイスカ誌や各種資料をお送りします。
・海外ボランティア、視察、交流等に参加できます。
・講演会やシンポジウム等に参加できます。
◇寄付等によるご協力も随時募集しています。
◇税制上の優遇措置
当法人は、2011 年 2 月 1 日に内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。寄付金や賛助会員は税制上の優遇措置が適応されます。

5月の予定

3 日　栗尾草刈り
7 日　田植え開始
9 日　体験農園作業日
10 日　谷口草刈り、内野草刈り
21 日　佐賀県推進協議会幹事会
27 日　西日本支部幹事会(書面開催)
29 日　技能実習生・㈱鶴田工業配属

日本語の様子③

4 月に入り、1 週間に半日の日本語授業となりました。1 週間ぶりに教室で会う研修生は「にんじんのくさとりはたいへんです！フィナさんは草刈りがじょうずです！」など、農業の話題が出てくるようになりました。
そして、コミュニケーションがますます上手にとれるようになっていると感じます。毎日の生活の中での積み重ねは、やはり大切ですね。ただ、センター内で、研修生同士だけでコミュニケーションが取れていればいいわけではありません。コロナの影響で外部との交流が今は一切ありませんが、授業では日本語の基礎を丁寧に教えて、いつ交流があってもいいようにしたいと思っています。

A クラスの 4 人に習った文型で帰国後について述べてもらいました。

◆ ジョーさん（ミャンマー）
「国へ帰ってからも、農業を続けようと思っています。」
◆ マーティンさん（メキシコ）
「国へ帰ってから、大学を卒業しようと思っています。」
◆ ハナさん（インドネシア）
「国へ帰ってから、日本語の先生になろうと思っています。」
◆ ジュディさん（メキシコ）
「まだ、考えていません。これから考えようと思っています。」
今は日本語充電中。
今後、みなさんと話すチャンスがくるまで、がんばれ！研修生。（立石考子）

農場研修風景

4 月 19 日（土）、前日から物凄い春の嵐がふいたので、農場の野菜の事が心配で早朝から見回りに行きました。カボチャやスイカのキャップはさほど飛んでおらず、こちらが予想していたほど被害が出ていないと思っていたところ、早良の3番（早良中学の近く）の畑に来た時に目を疑うような光景が現れたのです。なんと隣の畑のおじさん特製のビニールハウスがまるごと飛んで、うちの畑に着陸していたのです。植えられていたカボチャはもちろん心配でしたが、何よりも隣の家屋まで飛ばなくて良かったと思い、ひとまず現場を後にしました。そして、8 時からの農作業開始とともに、屈強な男の研修生総出で飛んだビニールハウスの撤去に取り掛かりました。途中で隣のおじさんが「申し訳ないね」と気まずそうに挨拶に来ました。黙々と作業が進めたられたことで 30 分程度できれいに片付けが終わりました。
オイスカ研修生の手際の良さに改めて感心しながら、キュウリの植え付けの作業へと移動していきました。（豊田）

↑飛んできたビニールハウス

↑ハウスの撤去作業

↑きゅうりの定植

新技能実習生入国

現在、朝倉市にある株式会社鶴田工業へ技能実習生として入るためインドネシアより2名が入国しセンターで2カ月の入国後講習を行っています。当初4月上旬の入国予定でしたがコロナウイルス感染拡大の影響により4月以降の出入国が厳しくなることを受けて急遽入国日を早め、3月26日に福岡空港へ入国しました。ただし、既にインドネシアでもコロナウイルスの感染が拡大していたこともふまえ、センターでの生活も他の研修生、職員との接触を極力控える形でほとんどの時間を部屋で過ごしてもらい、日本語などの対応も自室で行ってもらうなど来日して早々から不便と不安を抱えながらの講習となりました。

来日して1カ月、日本語もかなり上達し当初は、不安そうな顔をしていましたが、今はよく笑い他の研修生と楽しそうに接している様子が見られるようになりました。会社へ配属まで残り1カ月、更なる日本語の修得と日本での生活に必要なことを学び今後コロナウイルス感染の影響がどのようになっていくか分かりませんが、安心して日本で生活し技能を学べるように今後もサポートしていきます。（彦坂）

左：アリフさん
右：ザキさん

2020年度国際協力ボランティア

はじめまして、4 月から国際協力ボランティアスタッフとして活動させていただいている飯川裕基です。3 月まで北九州にある大学で、生物多様性の保全をテーマに、管理放棄された里山を保全する活動や、子どもたちと共に小学校ビオトープを保全する活動などに取り組んでいました。農業を行うのは初めてで職員の方々に迷惑をかけてばかりですが、環境保全型農業についてしっかり学びたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

オイスカ会員ご紹介コーナー

オイスカ宮崎県推進協議会・加治屋ヒロエさん

昨年の首里城炎上の時、海外の木材使用のニュースを見ました。
また、宮崎県推進協議会事務局の加治屋若子さんの活動を見聞きし、オイスカの取り組みについて日頃から強い関心を持っていましたので、昨年度よりオイスカの会員になりました。

10 数年支援活動をしていたボランティアの後、東北や熊本の義援金や物資の拠出などをする他、女子留学生の支援活動を続けています。
また、一個人としては限度がありますので、国内外に持続的な歴史を持っているオイスカの活動に共感し、東南アジアでの植林活動への参加や人材育成などの事業を応援することで、地球温暖化防止の一助になればと思っています。

↑右が加治屋ヒロエさん、左は娘さん

OB 紹介コーナー⑬

今回の OB 紹介は、つい先日めでたく結婚をした幸せいっぱいのインドネシア OB 研修生のスディさんです。2017 年の研修生で、現在オイスカスカブミ研修センターのスタッフとしてがんばっていますよ。

Mr SUDIANTO（スディ）：インドネシア

みなさんこんにちは。私は 2017 年の研修生スディです。

私は、中部日本研修センターOG で、同じオイスカスカブミ研修センターのスタッフとして働いていたウミさんと4月に結婚しました。今私は一番幸せです。私は西日本センターで研修して国に帰った後、オイスカスカブミ研修センターのスタッフとして今まで仕事をしています。今、私の担当は畑でトウガラシ、ナス、スイカ、トウモロコシ、キュウリなどを育てながら毎日研修生と一緒に畑で作業をしています。

センターの活動で大変なことは、雨が多い時に野菜が病気になる事と、サラリーがちょっと少ないことです（残念）。でもがんばります。楽しいこともありますよ。それは日本で学んだ、農業や日本語を研修生に教えることです。

これからの新しい目標は、お金を貯めて、前に作ったアクションプラン（メロンの栽培と種をつくる事業）をやりたいと思います。そしてオイスカもサポートしていきたいです。これからもオイスカインドネシアの活動を良くするためにがんばりますので応援を宜しくお願いします。

↑スディさん＆ウミさん

↑スカブミセンターでの仕事の様子

↑メロンの収穫

令和２年度オイスカ西日本研修センター海外研修生入所式（まるごと紙面）

皆様、平素よりオイスカ活動に対し多大なご支援をいただき有難うございます。新型コロナウィルスの影響で、4 月 18 日（土）に予定されていた「入所式」が中止となりました。今年度の海外研修生 12 名は本年 2 月 1 日に入所し、現在有機農業の研修に取り組んでいます。そんな彼らの元気な様子を特別企画「紙面入所式」でお届けできればと思います。まず初めに西日本支部 会長 瓜生 道明 様よりご挨拶をいただきます。

2 月に入所された 12 名の研修生の皆さん、ご入所おめでとうございます。皆さま一人一人が母国のために学びたいという強い想いをもって、福岡にお越しになられたことを心から歓迎しています。世界中で猛威をふるっている新型コロナウイルスに不安を感じている方もいらっしゃると思いますが、日々の体調管理に努めながら、有意義な研修生活を送っていただけたらと思います。ここ西日本研修センターの先生たちは皆さんの家族です。不安なことや困ったことがあれば相談するのはもちろん、嬉しいことや楽しかったこともお互いに語り合い、1 年間という限られた時間が、皆さんにとってかけがいのない１年間となるよう祈っています。

お忙しい中、研修生のために心温まるメッセージをいただき有難うございます。引き続き研修生 12 名の紹介をさせていただきます。研修生は前へどうぞ。自己紹介をお願いします。皆さん緊張しないでくださいね。

私の名前はパウです。フィジーから来ました。32 歳です。私の趣味はラグビーです。私は日本で有機農業の勉強がしたいです。どうぞ宜しくお願いします。

私の名前はニプンです。インドから来ました。22 歳です。私の趣味はバイクでツーリングすることです。私は日本で有機農業や日本の文化を勉強したいです。どうぞ宜しくお願いします。

私の名前はハナです。インドネシアから来ました。21 歳です。私の趣味は写真を撮る事です。私は日本で農業の事と日本での生活について勉強したいです。宜しくお願いします。

私の名前はフィナです。マレーシアから来ました。22 歳です。私の趣味は料理を作ることです。私は日本でトマトの作り方を勉強したいです。宜しくお願いします。

私の名前はジュディです。メキシコから来ました。41 歳です。私の趣味は刺繍です。私は日本で日本語と日本の料理を勉強したいです。宜しくお願いします。

私の名前はマーティンです。メキシコから来ました。22 歳です。私の趣味は本を読む事です。私は日本で花と木の事、虫の事について勉強がしたいです。宜しくお願いします。

私の名前はニャマです。モンゴルから来ました。32 歳です。私の趣味はドライブする事です。私は日本でいろいろな野菜や果物の管理と新しい農業について勉強がしたいです。宜しくお願いします。

私の名前はジョーです。ミャンマーから来ました。24 歳です。私の趣味は農業です。私は日本で田んぼ、野菜、トマト、機械の修理、種づくりの勉強がしたいです。宜しくお願いします。

「同会」

私の名前はマックスです。パプアニューギニアから来ました。28 歳です。私の趣味はラグビーです。私は日本で有機農業の勉強がしたいです。宜しくお願いします。

私の名前はテンジンです。チベットから来ました。24 歳です。私の趣味は新しい事を知る事です。私は日本で新しい事をもっと勉強したいです。宜しくお願いします。

私の名前はアフィです。パプアニューギニアから来ました OB 研修生です。34 歳です。私の趣味はギターを弾く事です。私は日本で豚と農業機械について勉強がしたいです。宜しくお願いします。

私の名前はジェリミーです。フィリピンから来ました OB 研修生です。31 歳です。私の趣味はバスケットボールです。私は日本で野菜の有機栽培と稲作、農業機械の勉強がしたいです。宜しくお願いします。

続きまして来賓の挨拶に移ります。地元脇山を代表しまして、重松会長よりご挨拶をいただきます。

2020 年 2 月 1 日にオイスカ西日本研修センターに 9 カ国 1 地域より 12 名の研修生が入所され、2021 年 1 月末まで脇山の住民になられました事を大歓迎いたします。新型コロナウィルス感染の自粛により、研修生の皆様と脇山校区、脇山小学校、航空自衛隊背振分屯基地、早良高校、脇山保育園との交流も自粛となりましたが、残された期間、脇山校区出来る限りのサポートをさせて頂きます。研修生の皆様、目標のアクションプランに向けて頑張ってください。

重松会長有難うございます。これから脇山の皆さんにはお世話になります。続きまして廣瀬所長のスピーチをお願いします。

新型コロナウィルスの影響で入所式が中止となり、今年度の研修生の元気な姿を皆にお見せできずに申し訳ございません。現在海外研修生 12 名は、入所してから２カ月間の基礎研修を行い、4 月から有機農業の研修がはじまっております。イベント等がすべて中止となる中で、買い物などの外出を控えながら日々農場で研修に励んでいます。コロナが終息した後は、是非センターに足を運んでいただいて、研修生の元気な様子をお見せできればと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

廣瀬所長有難うございます。最後に研修生を代表してインドネシアのハナさんよりスピーチをいただきます。

皆さんこんにちは。私はインドネシアのハナです。研修生を代表してスピーチいたします。私は日本に来る前、インドネシアのスカブミ研修センターで 1 年半、女性生活改善の研修生としてお菓子やケーキ、農業の勉強をしました。私の父はオイスカ西日本研修センターの OB 研修生だったので、今回西日本センターに研修に来られてとても嬉しいです。私の父は今高校で農業の先生をしています。私たちは 2 月 1 日に日本に来ましたが、その時はとても寒くてびっくりしました。でも今は大丈夫です。研修生も全員毎日元気に農業の研修をしています。コロナの影響でサポーター会員の皆様や脇山の皆さんと会う事が出来ませんが、いつも支援をしていただき心からお礼を申し上げたいです。
コロナが終わってから是非皆さんとお会いしていろいろとお話が出来る事を楽しみにしています。
私たちは来年 1 月までここで研修をしますので、是非遊びにきてください。これからも応援宜しくお願いします。

ハナさん立派なスピーチ有難うございます。これからも研修生と一緒に将来のために頑張っていきましょう。
以上をもちまして令和２年度「まるごと紙面入所式」を終わります。みなさんこれからも応援宜しくお願いします。